

病院・水道事業の経営状況

平成19年度の企業会計決算概要をお知らせします！

病院事業会計決算



医業収益は、入院が一日平均六十六人、外来が一日平均二百十二人で約十五億百万円となっております（表1）、（表2）。これに対する医業費用は、職員九十七人の給与費や委託料、光熱水費などの経費が主な支出で約十六億三千七百万円となり、差し引き約一億三千六百万円の医業損失となります。

一般会計からの繰入金も約一億九千八百万円あり、依然として厳しい経営状況となっております。

【表1】市民病院患者数

入院 (単位：人)			
	平成19年度	平成18年度	比較増減
総数	24,289	22,494	1,795
一日平均	66	62	4
外来 (単位：人)			
	平成19年度	平成18年度	比較増減
総数	77,441	82,102	△4,661
一日平均	212	225	△13



問合せ／市民病院 ☎ (472) 9211
障がいをもつ小児のリハビリテーションも行っていきます。(写真は作業療法を行う部屋)

康をキーワードとした（仮称）総合健診センターを市民病院に併設する予定であり、今後も「安心・安全な地域医療の提供」に努めていきます。

【表3】平成19年度水道事業損益計算書 (単位：千円)

1 営業収益		
(1) 給水収益		1,007,127
(2) その他営業収益		271,204
合計		1,278,331
2 営業費用		
(1) 原水及び浄水費		480,195
(2) 配水及び給水費		122,418
(3) 総係費		117,384
(4) 減価償却費		348,039
(5) 資産減耗費		249
合計		1,068,285
営業利益(※1)		210,046
3 営業外収益		
(1) 受取利息及び配当金		8,121
(2) 雑収益		1,558
合計		9,679
4 営業外費用		
(1) 支払利息等		109,380
(2) 雑支出		400
合計		109,780
経常利益(※2)		109,945
5 特別利益		286
6 特別損失		28,128
当年度純利益		82,103
前年度繰越利益剰余金		1,033
当年度未処分利益剰余金		83,136

※1 営業収益－営業費用
※2 営業利益－(営業外収益－営業外費用)

【表2】平成19年度病院事業損益計算書 (単位：千円)

1 医業収益		
(1) 入院収益		793,668
(2) 外来収益		505,307
(3) その他医業収益		202,089
合計		1,501,064
2 医業費用		
(1) 給与費		1,053,340
(2) 材料費		184,895
(3) 経費		337,791
(4) 減価償却費		57,652
(5) 資産減耗費		1,146
(6) 研究研修費		2,803
合計		1,637,627
医業損失(※1)		136,563
3 医業外収益		78,432
4 医業外費用		38,583
経常損失(※2)		96,714
5 特別利益		0
6 特別損失		5,262
7 予備費		0
当年度純損失		101,976
前年度繰越欠損金		138,814
当年度未処理欠損金		240,790

※1 医業費用－医業収益
※2 医業損失－(医業外収益－医業外費用)

水道事業会計決算

営業収益は、給水収益が約十億一千万円で、水道加入金などの、その他営業収益が約二億七千万円、合計約十二億八千万円となりました。

今後は、新たな起債を行わないなど、計画的かつ効率的な事業展開で、水道事業の健全化をめざします。

問合せ／水道料金課 内線2711



これに対する営業費用は、水道水の購入・給水にかかる費用が主なもので、約十億七千万円となり、約二億一千万円の営業利益となりました（表3）。

しかし、企業債（水道事業会計の借金）残高が約四十二億七千万円あり、平成19年度には、企業債元金償還金を約一億五千万円、企業債利子を約一億円支払っています。これは、水道事業総事業費の約14%を占めています。

また、水道水1立方メートル当たり